

ご修理のときは

お買い求めの販売店、またはホームセンターにお申し付けください。
なお、修理を依頼する販売店やホームセンターがお近くにない場合は、
弊社 WEB サイトから修理受付けを行っていますのでアクセスしてください。



<https://www.hikoki-powertools.jp/contact/repair/>

お客様メモ

お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号 (NO.) などを下欄にメモしておくと、修理を依頼されるとき便利です。

お買い上げ日	年	月	日	製造番号 (NO.)
販売店 (TEL)				

お客様相談センター

●フリーダイヤル (9:00 ~ 18:00)

0120-20-8822 ※携帯電話、IP 電話からもご利用いただけます。

工機ホールディングス株式会社

〒108-6018 東京都港区港南 2 丁目 15 番 1 号 (品川インターシティ A 棟 18 階)

電動工具ホームページ — <https://www.hikoki-powertools.jp>

部品コード C99261202 411 N

HIKOKI

取扱説明書

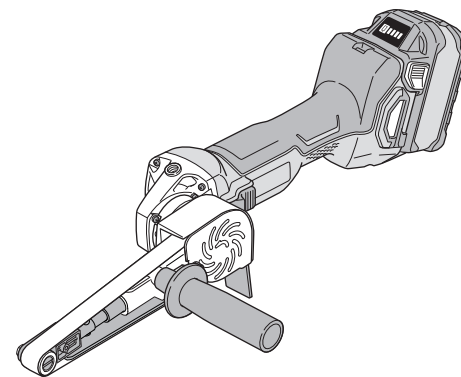
コードレスベルトサンダ

36 V

20 mm

SB 3602DA [ブレーキ付]

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、
ありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、
正しく安全にお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られる所に
大切に保管してご利用ください。



本製品は日本国内用のため、日本国外で販売または使用することはできません。日本国外で使用した場合は、仕様上の性能を発揮できない恐れがあります。日本国外では、修理または保証を受けられません。

This product may be used only in Japan and should not be sold or used in any other country. Otherwise, product may not perform as intended. No authorized service or warranty is available outside of Japan.

用途

- 金属全般のバリ取り
- 金属表面の研磨仕上げ
- 金属塗装面の下地みがき、さび落とし、塗り替えの際の塗料落とし
- へこんだ部分や狭い場所の研磨、さび落とし
- 刃物研ぎ
- 木材の研削

はじめに	コードレス工具の安全上のご注意…	1
	本製品の使用上のご注意……………	5
	リチウムイオン電池の使用上のご注意…	7
	各部の名称……………	9
	仕様……………	10
	標準付属品……………	11
	別売部品……………	12

使い方	蓄電池の取付け・取りはずし ……	12
	ガードの角度調整……………	13
	サイドハンドルの取付け方……………	14
	研磨ベルトの位置調整……………	14
	研磨ベルトの交換……………	15
	スイッチについて……………	17
	モード切替機能について……………	18
	蓄電池の電池残量表示について…	19
その他	本製品の特性について……………	20
	研磨する……………	21
	部品の交換について……………	23

その他	保守・点検……………	28
	ご修理のときは……………	裏表紙

⚠警告、⚠注意、注 の意味について

⚠警告 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容の注意。

⚠注意 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容の注意。

注 : 製品のすえ付け、操作、メンテナンスに関する重要な注意。

なお、**⚠注意**に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

コードレス工具の安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- 使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

⚠警告

- ① **専用の充電器や蓄電池を使用してください。**
弊社カタログに記載されている指定の充電器や蓄電池を使用してください。
指定以外の蓄電池を使用すると、破裂して傷害や損害を及ぼす恐れがあります。
- ② **蓄電池の端子間を短絡（ショート）させないでください。**
釘袋などに入れると、短絡（ショート）して、発煙・発火・破裂などの恐れがあります。
- ③ **蓄電池の内部に、水のような導電性の液体を入れないでください。**
発熱・発火・破裂などの恐れがあります。
- ④ **作業場や保管場所の周囲状況も考慮してください。**
 - 工具本体や蓄電池は、雨の中や湿った場所で使用・放置・保管をしないでください。感電や発煙の恐れがあります。
 - 作業場は十分に明るくしてください。
暗い場所での作業は、事故の原因になります。
 - 可燃物、可燃性あるいは腐食性の液体やガスがある所での使用・充電・保管をしないでください。発火や火災の恐れがあります。
- ⑤ **保護メガネを使用してください。**
作業時は、保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
切削した物や粉じんが目や鼻に入る恐れがあります。

⚠警告

- ⑥ **加工する物をしっかりと固定してください。**
加工する物を固定するために、クランプや万力などを利用してください。
手で保持するより安全で、両手でコードレス工具を使用できます。
固定が不十分な場合は、加工する物が飛んで、けがの原因になります。
- ⑦ **次の場合は、コードレス工具のスイッチを切り（OFF）、蓄電池を工具本体から取りはずしてください。**
 - 使用しない、または、準備・調整・保守・点検する場合。
 - 付属品や別売部品を取付け、交換する場合。
 - その他、危険が予想される場合。
コードレス工具が作動して、けがの原因になります。
- ⑧ **不意な始動は避けてください。**
スイッチに指を掛けて運ばないでください。
コードレス工具が作動して、けがの原因になります。
- ⑨ **指定の付属品や別売部品を使用してください。**
この取扱説明書、および弊社カタログに記載されている指定の付属品や別売部品を使用してください。事故やけがの原因になります。
- ⑩ **蓄電池を火の中に投入しないでください。**
破裂して、有害物質が出る恐れがあります。

⚠注意

- ① **作業場は、いつもきれいに保ってください。**
散らかった場所や作業台は、事故の原因になります。
- ② **子供を近づけないでください。**
 - 作業員以外、コードレス工具に触れさせないでください。けがの原因になります。
 - 作業員以外、作業場へ近づけないでください。けがの原因になります。
 - 安全の責任を負う人の監視または指示がないかぎり、補助を必要とする人が単独で
使用しないでください。
- ③ **使用しない場合は、きちんと保管してください。**
 - 乾燥した場所で、子供の手が届かない所または鍵のかかる所に保管してください。
事故の原因になります。
 - 工具本体や蓄電池を、温度が50℃以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や
夏の車内など）に保管しないでください。
蓄電池劣化の原因になり、発煙、発火の恐れがあります。

⚠注意

- ④ 無理して使用しないでください。
- 安全に能率良く作業するために、コードレス工具の能力に合った速さで作業してください。能力以上での使用は、事故の原因になります。
 - モーターがロックするような無理な使い方はしないでください。発煙、発火の恐れがあります。
- ⑤ 作業に合ったコードレス工具を使用してください。
- 大形のコードレス工具で行う作業には、小形のコードレス工具・別売部品を使用しないでください。けがの原因になります。
 - 指定された用途以外に使用しないでください。けがの原因になります。
- ⑥ きちんとした服装で作業してください。
- だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、着用しないでください。回転部に巻き込まれる恐れがあります。
 - 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めの付いた履物の使用をお勧めします。滑りやすい手袋や履物は、けがの原因になります。
 - 長い髪は、帽子やヘアカバーなどでおおってください。回転部に巻き込まれる恐れがあります。
- ⑦ 無理な姿勢で作業をしないでください。
- 常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。転倒して、けがの原因になります。
- ⑧ コードレス工具は、注意深く手入れをしてください。
- 安全に能率良く作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。損傷した刃物類を使用すると、けがの原因になります。
 - 付属品や先端工具の取付け・取りはずしは、取扱説明書に従ってください。
 - 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースが付かないようにしてください。けがの原因になります。
- ⑨ 調整キーやスパナなどは、スイッチを入れる前に取りはずしてください。
- 調整キーやスパナなどの工具類が、取りはずしてあることを確認してください。付けたままでは作動時に飛び出して、けがの原因になります。
- ⑩ 油断しないで十分注意して作業をしてください。
- コードレス工具を使用する場合は、取扱い方法、作業の仕方、周りの状況など、十分注意して慎重に作業をしてください。軽率な行動をすると、事故やけがの原因になります。
 - 常識を働かせてください。非常識な行動をすると、事故やけがの原因になります。
 - 疲れている場合は、使用しないでください。事故やけがの原因になります。
- ⑪ 十分な防じん対策や飛散防止対策をしてください。
- 特に、人体に有害な成分を加工するときは注意してください。

⚠注意

- ⑫ アスベスト(石綿)周辺の環境下(除去作業を含む)で使用しないでください。
- アスベストは、人体に肺がん等の重大な健康被害を発症させる物質です。
- ⑬ 損傷した部品がないか点検してください。
- 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
 - 可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他、運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
 - 破損した保護カバー、その他の部品交換は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店に依頼してください。
 - スイッチで始動および停止操作のできないコードレス工具は、使用しないでください。誤作動して、けがの原因になります。
- ⑭ コードレス工具の修理は、専門店に依頼してください。
- サービスマン以外の方は、工具本体や蓄電池の分解・修理・改造をしないでください。発火や誤作動など、けがの原因になります。
 - コードレス工具が高温になるなど、異常に気付いたときは、点検・修理に出してください。
 - この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
 - 修理は、お買い求めの販売店に依頼してください。修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因になります。
 - アスベスト(石綿)周辺の環境下(除去作業を含む)で使用したコードレス工具の保守・点検・修理は受けできません。

○騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。ご近所に迷惑をかけないように、規制値以下でご使用になることが必要です。状況に応じ、しゃ音壁を設けて作業してください。

本製品の使用上のご注意

先にコードレス工具として共通の注意事項を述べましたが、コードレスベルトサンダについて、次に述べる注意事項を守ってください。

⚠警告

- ① 水、研削液などは使用しないでください。
研磨ベルトの破損や、けがの原因になります。
- ② マグネシウムは研削しないでください。
発火や爆発の原因になります。
- ③ 使用中は、回転部に手や顔などを近づけないでください。
- ④ 被削材を手にとって研削しないでください。
- ⑤ 使用中は、機体をしっかりと保持してください。
- ⑥ ベルトカバーを取付けて使用してください。
- ⑦ 機体を万力などで保持した使い方はしないでください。
- ⑧ 鋼板などの研磨のときは、研磨粉は火花となって飛散するので、引火しやすい物、傷付きやすい物は安全な場所に遠ざけてください。また、研磨火花を直接手足などに当てないようにしてください。
- ⑨ 使用中、機体が高温になったり、異常音、異常振動がしたりするときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店に点検・修理を依頼してください。
- ⑩ 誤って落としたり、衝撃が加わったり、工具類や機体などに破損や亀裂、変形が生じた場合は、使用しないでください。
破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。
- ⑪ 工具本体の端子部（蓄電池取付部）に、切りくずやほこりがたまらないようにしてください。
 - 使用前に、端子部に切りくず、ほこりがたまっていないことを確認してください。
 - 作業中に、機体に付いた切りくず、ほこりが端子部に降りかからないようにしてください。
 - 使用中断時、および使用後に切りくず、ほこりが降りかかる場所に機体を放置しないでください。
短絡（ショート）して、発煙・発火などの恐れがあります。
- ⑫ 工具本体の端子部（蓄電池取付部）に変形が生じた場合は、使用しないでください。
短絡（ショート）して、発煙・発火の恐れがあります。
- ⑬ エアーガンなどを用いて機体を掃除する際は、防じんマスクと保護メガネを使用してください。
ごみやほこりを吸い込んだり、目に入る可能性があります。

⚠注意

- ① 使用中は、軍手など巻き込まれる恐れがある手袋を着用しないでください。
- ② 高所作業のときは、下に人がいないことを確認してください。
材料や機体などを落としたとき、事故の原因になります。
- ③ 回転させたまま、台や床などに放置しないでください。
- ④ 蓄電池は確実に取付けてください。

⚠警告マークについて



このマークのある操作・手順では、必ずスイッチを切り（OFF）、蓄電池を工具本体から取りはずしてください。
蓄電池を工具本体に装着したまま準備や点検、先端工具の交換などをすると、予期できない作動を招いて事故やけがの原因になります。

リチウムイオン電池の使用上のご注意

本製品はリチウムイオン電池を使用します。リチウムイオン電池には、寿命を長くする目的で出力を停止する保護機能が付いています。

下記 ①、②、③ の場合、本製品を使用中にモーターが停止することがあります。これは保護機能によるものであり故障ではありません。

- ① 電池残量が少なくなるとモーターが停止します。
速やかに充電してください。
- ② 過負荷状態になるとモーターが停止する場合があります。
スイッチを切り、過負荷の原因を取り除いてください。
- ③ 蓄電池が過熱状態になるとモーターが停止する場合があります。
蓄電池の使用を中断し、工具本体より取りはずして、風通しの良い日かげなどで蓄電池を十分に冷ましてください。

再びご使用になれます。

さらに蓄電池の液漏れ、発熱・発煙・発火を未然に防ぐため、次に述べる注意事項を守ってください。

⚠ 警告

- ① 蓄電池の端子部に、切りくずやほこりがたまらないようにしてください。
 - ・使用前に、端子部に切りくず、ほこりがたまっていないことを確認してください。
 - ・作業中に、機体に付いた切りくず、ほこりが端子部に降りかからないようにしてください。
 - ・使用中断時、および使用後に切りくず、ほこりが降りかかる場所に機体を放置しないでください。
- ② 誤って落とすなど、蓄電池の端子部に変形が生じた場合は、使用しないでください。また、外傷、変形の著しい蓄電池は使用しないでください。
- ③ 蓄電池に釘を刺す、ハンマーでたたく、踏みつける、投げつけるなど強い衝撃を与えないでください。
- ④ 蓄電池を指定機器以外の用途に使わないでください。
- ⑤ 蓄電池を電子レンジや高圧容器に入れるなど、過熱・高圧を与えないでください。
- ⑥ 蓄電池が液漏れしたり、異臭を発したりするときは直ちに火気より遠ざけてください。
- ⑦ 強い静電気の発生する場所では使用しないでください。
- ⑧ 蓄電池の使用、充電、保管時に異臭・発熱・変色・変形、その他異常に気が付いたときは、直ちに使用を中止して、お買い求めの販売店に相談してください。

⚠ 警告

- ⑨ 蓄電池にアルカリ系の潤滑剤や切削液が付着した場合は、速やかに乾いた布でふき取ってください。
ケースの破損や劣化の原因になります。

⚠ 注意

- ① 蓄電池が液漏れして液が目に入ったときは、こすらずにすぐ水道水などのきれいな水で十分に洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。
放置すると液により目に障害を与える原因になります。
- ② 蓄電池が液漏れして液が皮膚や衣類に付着した場合は、直ちに水道水などのきれいな水で洗い流してください。
皮膚がかぶれたりする原因になる恐れがあります。
- ③ 蓄電池を一般のごみと一緒に捨てないでください。
- ④ 蓄電池は子供の手が届かない所に保管してください。
- ⑤ 蓄電池の仕様表示に従って正しく使用してください。

蓄電池はリサイクルへ

蓄電池はリサイクル可能な貴重な資源です。蓄電池を廃棄する際は、リサイクルにご協力いただき、お買い求めの販売店にご持参ください。

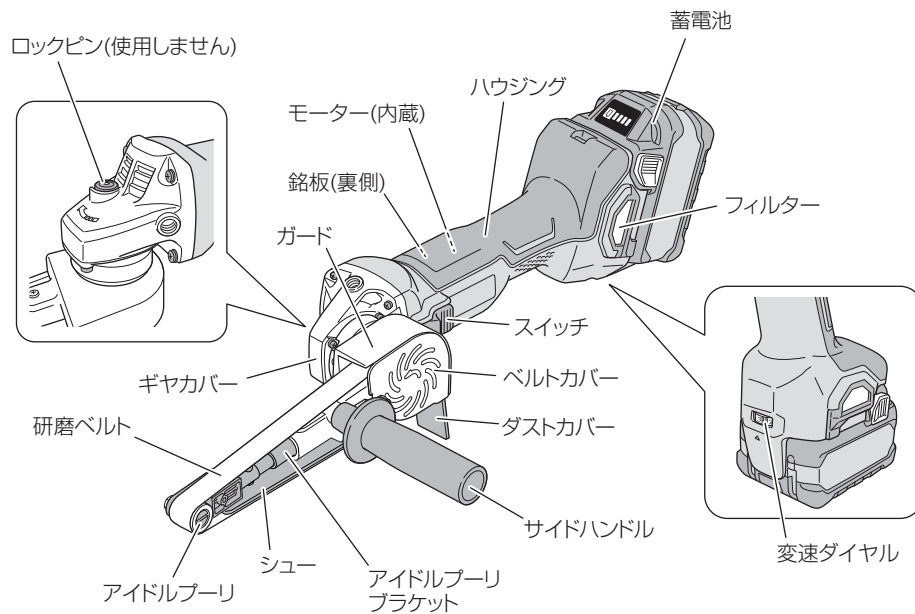


○ 蓄電池は、弊社純正品をご使用ください

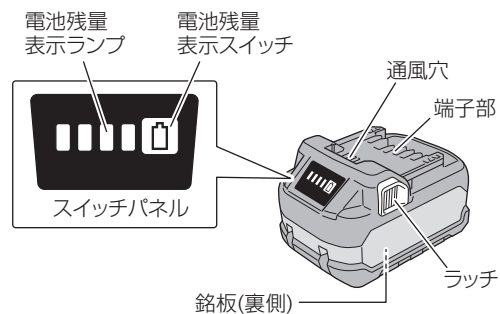
弊社指定の蓄電池以外の使用や分解、改造した物（蓄電池を分解してセルなどの内蔵部品を交換した物を含みます）は、安全性や製品に関する保証ができません。

各部の名称

工具本体



蓄電池



仕様

1. 工具本体

形 名	SB 3602DA
モーター	直流ブラシレスモーター
無負荷回転数	変速モード時: 3,000 ~ 10,000 min ⁻¹ { 回 / 分 } オートモード時: 5,500 min ⁻¹ { 回 / 分 }
無負荷研磨ベルト速度	変速モード時: 7.7 ~ 25.7 m/s { 460 ~ 1,540 m / 分 } オートモード時: 14.2 m/s { 850 m / 分 }
研磨ベルト寸法 (幅 × 長さ)	20 × 520 mm
寸 法 (長さ × 幅 × 高さ)	545 × 244 × 123 mm [BSL 36A18X 装着時]
使用可能蓄電池	マルチボルトタイプ蓄電池 ^{※1}
質 量	3.1 kg [BSL 36A18X 装着時]
振動 3 軸合成値 ^{※2}	< 2.5 m/s ² ^{※3}

※1: AC/DCアダプタ(ET 36A)は使用できません。

※2: 振動 3 軸合成値(周波数補正振動加速度実効値の 3 軸合成値)については、振動 JEMA [一般社団法人日本電機工業会]

ウェブサイト: <https://www.jema-net.or.jp/Japanese/pis/powertool.html>
を参照してください。

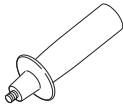
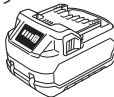
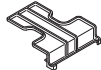
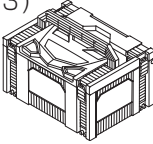
※3: 振動 3 軸合成値は、EN60745-2-4 規格に基づき測定しています。

2. 蓄電池

形 名	BSL 36A18X
種 類	円筒密閉形リチウムイオン電池
電池電圧	36 V / 18 V (工具本体により自動切替)
容 量	2.5 Ah / 5.0 Ah (工具本体により自動切替)
冷 却	対応
使用可能 コードレス製品	18 V 品: 使用可 [*] 36 V 品: マルチボルトタイプ蓄電池対応製品
使用可能充電器	スライド式リチウムイオン電池対応充電器 UC 36***、UC 18*** シリーズ
残量表示ランプ	緑色 LED

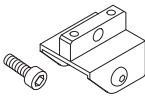
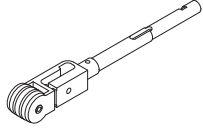
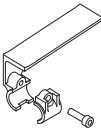
※ ご使用できない製品があります。詳しくは、弊社ホームページまたは総合カタログで確認してください。

標準付属品

品 名	個数	品 名	個数
サイドハンドル 	1 本	研磨ベルト (ジルコニア) # 60 〔本体装着 1、 予備 1〕 	2 本
六角棒スパナ (2.5 mm、4 mm) 	各 1 本	研磨ベルト (ジルコニア) # 80 # 100 # 120 	各 1 本
蓄電池 BSL 36A18X 〔本体装着 1、予備 1〕 	2 個	充電器 ●取扱い方法は、充電器の取扱 説明書を確認してください。	1 台
電池カバー 	2 個	システムケース (No. 3) 	1 個

別売部品 (別売部品は生産を打ち切ることがありますので、ご了承ください。)

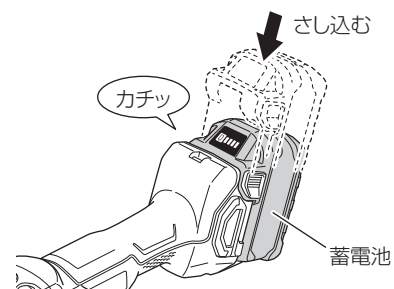
詳しくは、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

オフセットブラケット 20 	アイドルプーリブラケット A 両手持ちタイプ (狭い場所、隅部研磨用) 
取付け・使い方は P.26 をご参照ください。	取付け・使い方は P.27 をご参照ください。
フィンガーパッドセット 	研磨ベルト 20 × 520 mm (20 本入り) 
取付け・使い方は P.27 をご参照ください。	P.16「研磨ベルトの選び方」を ご参照ください。

蓄電池の取付け・取りはずし

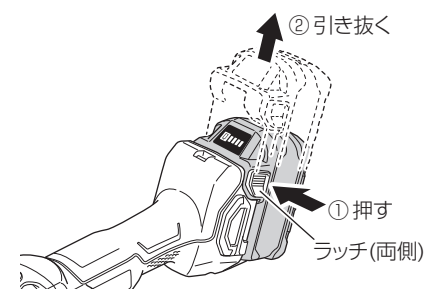
取付けるとき

「カチッ」と音がするまで、確実にさし込んでください。



取りはずすとき

両側のラッチを押しながら、スライドさせて引き抜きます。



🔧 ガードの角度調整

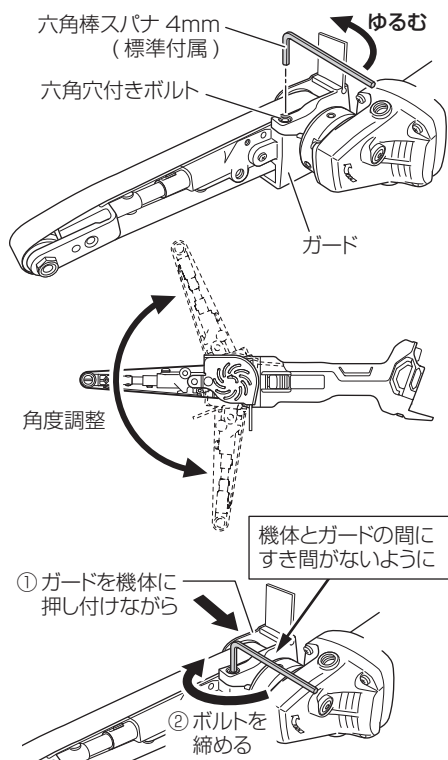
⚠️ 注意

- ガードを折りたたむときは、指などを挟まないようにしてください。
- 機体とガードの間に、すき間がないよう固定してください。

1 付属の 4 mm 六角棒スパナで六角穴付きボルトをゆるめます。

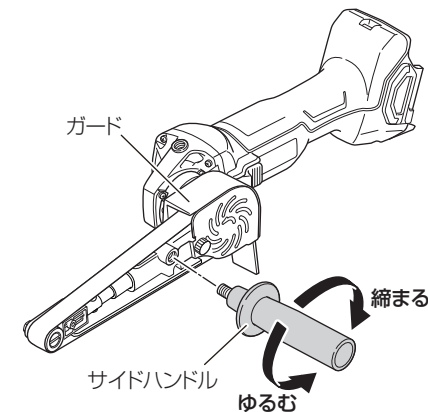
2 ガードの角度を作業しやすい角度に調整します。

3 角度調整後、六角穴付きボルトを締めます。
このとき、機体とガードの間に、すき間がないようにベルトカバー側から押し付けながらボルトを締めてください。



🔧 サイドハンドルの取付け方

サイドハンドルは、ガードの側面にあるねじ穴に確実に取付けます。



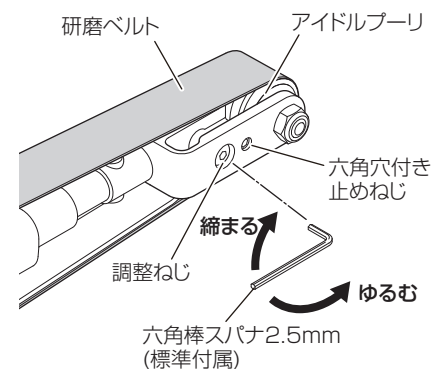
研磨ベルトの位置調整

研磨ベルトがアイドルプーリの中心になるように調整します。

1 付属の 2.5 mm 六角棒スパナで、六角穴付き止めねじと調整ねじをゆるめます。

2 スイッチを入れ、少し回転させてベルトの走行位置を確認し、研磨ベルトがアイドルプーリの中心を通るように調整ねじで調整します。調整時はスイッチを切り、蓄電池を工具本体から取りはずしてください。調整ねじはゆるめると左へ、締めると右に移動します。

3 調整が終わったら、六角穴付き止めねじを締めてください。



研磨ベルトの交換

⚠注意

- 研磨ベルトを装着せずに、プッシュボタンをむやみに押さないでください。故障の原因になります。
- 研磨ベルトの内側に表示されている矢印と、ガードに指示された機体の回転方向を合わせてください。
矢印方向を間違えると作業能力が低下し、研磨ベルトの接合部がはがれる原因になります。

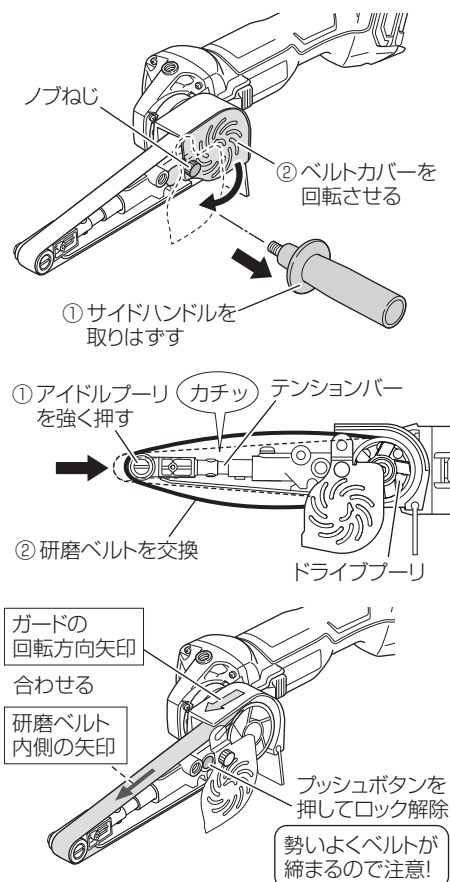
1 サイドハンドルを取りはずします。
ノブねじをゆるめベルトカバーを
図のように回転させます。

2 アイドルプーリを矢印の方向に、
「カチッ」と音がするまで強く押し
てテンションバーをロックし、研磨
ベルトをはずします。

3 新しい研磨ベルトを取付けます。
矢印方向を間違えると作業能力が
低下し、研磨ベルトの接合部がは
がれる原因になります。

4 プッシュボタンを押すと、テンショ
ンバーのロックが解除されます。

5 ベルトカバーを、ノブねじを締めて
元の位置に固定します。また、サイ
ドハンドルを取付けます。



- 注**
- 作業後は、アイドルプーリが高温になっています。
 - 研磨ベルトをはずしたときに、エアガンなどでドライブプーリ周囲の切りくずを除去してください。

● 研磨ベルトの選び方

研磨ベルトは作業に適した粒度、砥粒をお選びください。

(ベルト寸法 20 mm × 520 mm, 20 本入り)

一般的な基準		研磨ベルトの種類と粒度		
仕上げの程度	粒 度	ジルコニア (Z)	アルミナ (AA)	セラミック (CE)
荒 仕 上 げ	40	# 40	# 40	# 40
中 間 仕 上 げ	60 ~ 100	# 60, 80, 100	# 60, 80, 100	# 60, 80, 100
仕 上 げ	120 ~ 180	# 120, 180	# 120, 180	# 120
上 仕 上 げ	240 ~ 400	# 240	# 240, 320, 400	—

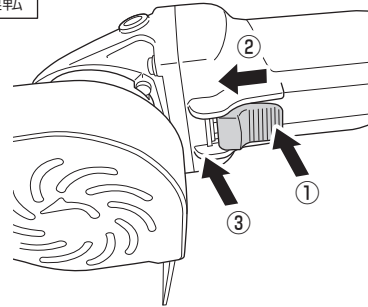
ジルコニア # 60, 80, 100, 120 は標準付属品と同じ

砥 粒	特 徴
ジルコニア (Z)	● 万能タイプで、圧のかかった研磨に強く耐久性が高い ● 上仕上げ以外の幅広い金属研削に向く
アルミナ (AA)	● 磨耗による劣化が早く高加圧研磨に不向き ● 摩擦の当たりが柔らかいので仕上げ面が比較的きれい ● 一般鋼材向け ● 木材向け
セラミック (CE)	● 一般鋼材から特殊鋼まで、研削量を増やしたい作業に向く

スイッチについて

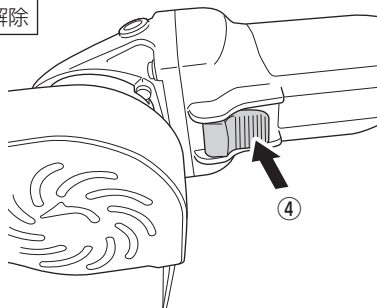
スイッチは①の方向に押して、②の方向にスライドさせた後、③の方向に押し込むとスイッチがロックされ、連続運転ができます。

連続運転



ロックを解除し、スイッチを切るときは④の方向にスイッチを押します。

ロック解除



モード切替機能について

本機には、「変速モード」と「オートモード」の2モードが備えられています。

変速モード

変速モードでは、研磨ベルト速度を5段階に設定できます。

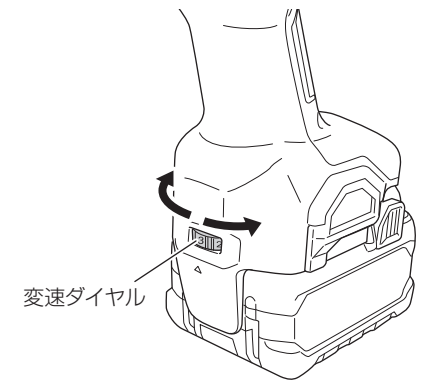
負荷が変化しても、ダイヤルで設定したベルト速度を維持します。

オートモード

モーターの無負荷時の最高回転数を低くすることで、騒音を抑えることができます。

作業中に負荷が大きくなると、ベルト速度を自動的に引き上げます。

また、負荷が小さくなると、自動的にベルト速度を下げます。



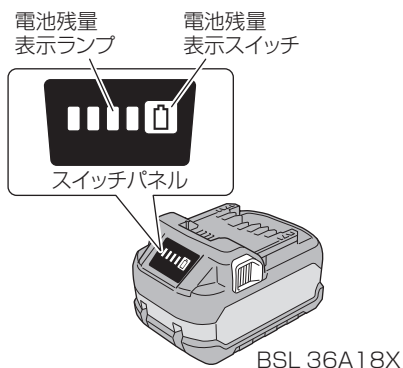
変速モードでは研磨ベルト速度を変えられます。用途に合わせたベルト速度で使用してください。

モード	ベルト速度 (m/s {m/分})	
変速	ダイヤル設定	1 7.7 { 460 }
		2 12.2 { 730 }
		3 16.7 { 1,000 }
		4 21.2 { 1,270 }
		5 25.7 { 1,540 }
オート	A	14.2 { 850 } (軽負荷時)
		25.7 { 1,540 } (重負荷時)

蓄電池の電池残量表示について

電池残量表示スイッチを押すとランプが点灯して、電池残量を確認することができます。

電池残量表示は、使用環境、蓄電池の状態などにより異なりますので目安としてください。



注 残量表示機能のある製品側、および充電器側の残量表示と異なる場合があります。

ランプの点灯状態		電池残量
	点灯	75% 以上
		50% ~ 75% 未満
		25% ~ 50% 未満
		25% 未満
	点滅	0%
		高温のため出力停止 ^{※1}
		故障のため出力停止 ^{※2}

※1：蓄電池を工具本体より取りはずし、十分に冷ましてください。

※2：蓄電池の故障と考えられますので、お買い求めの販売店に相談してください。

本製品の特性について

本製品では電子制御を行っており、下記のような特性があります。

特 性	内 容
ソフトスタート	起動時の回転数を制御することで、作業への反動を低減します。
ブレーキ機能	スイッチを切るとブレーキが働き、モーターの回転を停止させます。
定回転制御	負荷をかけても回転数を一定に保とうとするため、回転数が下がりにくく、高い作業性が得られます。
過負荷保護機能	作業中一定以上の負荷が加わると、モーターが停止します。過負荷となった原因を取り除けば、再び使用できます。
温度保護機能	機体の温度が一定以上になると、制御部の保護のため停止します。機体の温度が下がれば、再び使用できます。
再起動防止機能	スイッチを入れた状態で、蓄電池を工具本体にさし込んでも起動しません。スイッチを一度切ること、解除することができます。
モード切替機能	P.18「モード切替機能について」を参照してください。

研磨する

- 金属全般のバリ取り
- 金属表面の研磨仕上げ
- 金属塗装面の下地みがき、さび落とし、塗り替えの際の塗料落とし
- へこんだ部分や狭い場所の研磨、さび落とし
- 刃物研ぎ
- 木材の研削

1 研磨ベルトの取付け

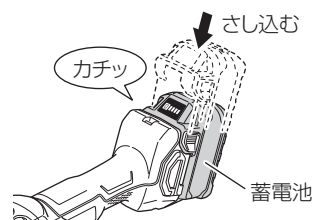
作業に適した研磨ベルトを選定してください。
(P.15「研磨ベルトの交換」参照)

2 ガードの角度を調整する

作業位置や加工面の形状に合わせて、ガードの角度を変更してください。
(P.13「ガードの角度調整」参照)

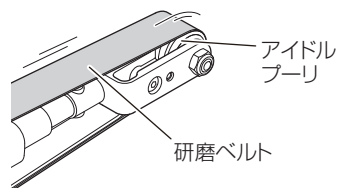
3 蓄電池を取付ける

「カチッ」と音がするまで、確実にさし込んでください。(P.12「蓄電池の取付け・取りはずし」参照)



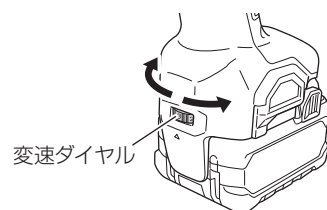
4 研磨ベルトの位置を調整する

スイッチを入れ、少し回転させて研磨ベルトの走行（横ぶれ）位置を確認します。
アイドルプールのどちらか端面に寄っているようであれば調整してください。
(P.14「研磨ベルトの位置調整」参照)



5 速度を設定する

用途に合わせて研磨ベルトの速度を設定してください。(P.18「モード切替機能について」参照)



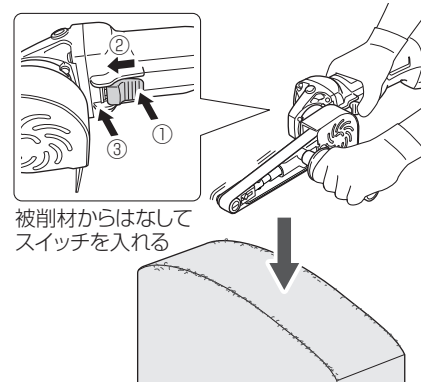
⚠ 警告

研磨ベルトに破れ、穴などの異常がないことを確認してから使用してください。
研磨ベルトの破損や、けがの原因になります。

- 注**
- 本製品は材料に対し、軽く当てる程度で使用してください。
強く押し付けると能率が悪くなるばかりでなく、寿命も短くなります。
 - ブレーキが働くときの反発力に注意してください。

6 スイッチを入れる

機体を被削材からはなしてスイッチを入れます。(P.17「スイッチについて」参照)
研磨ベルトの速度が安定したら使用してください。



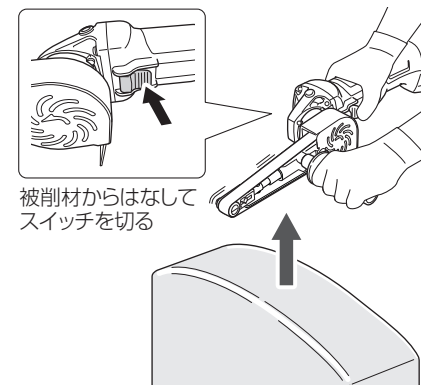
被削材からはなして
スイッチを入れる

⚠ 注意

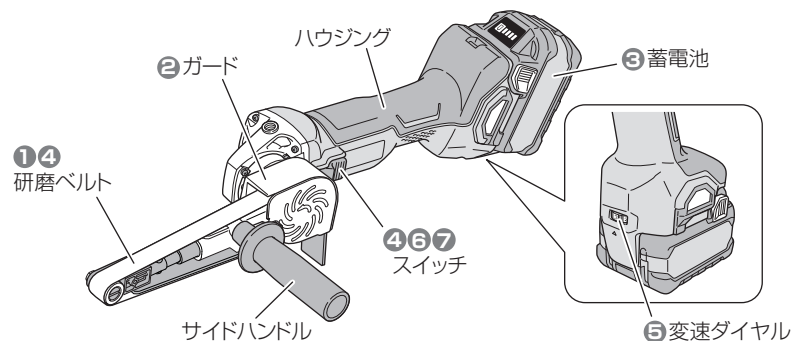
- スイッチを入れるときは、研磨ベルトが被削材などに接触していないことを確認してください。
接触していることを知らずにスイッチを入れると、けがの原因になります。
- 研磨ベルトを加工面に強い力で押し当てたり、鋭利な物を押し当てたりしないでください。
研磨ベルトが切れる原因になります。

7 作業を終了する

使用後は被削材からはなしてスイッチを切り、回転が止まってから機体を置いてください。



回転が止まらぬうちに切りくずやごみの多い場所に置くと、切りくずやごみを吸い込むことがあります。
機体の損傷の原因になりますので注意してください。



部品の交換について

シュー、アイドルプーリブラケット、アイドルプーリが消耗したときの交換、および別売部品のオフセットブラケット 20、アイドルプーリブラケット A、フィンガーパッドの取付けは、次の手順に従ってください。

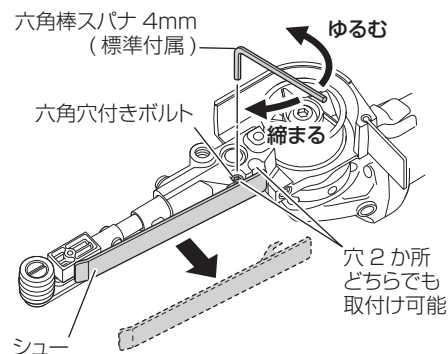
- 注**
- 作業後は、アイドルプーリが高温になっています。
 - 研磨ベルトをはずしたときに、エアーガンなどでドライブプーリ周囲の切りくずを除去してください。

●シューの交換

- 1** P.15「研磨ベルトの交換」**1**、**2**を参照し、研磨ベルトを取りはずします。

- 2** 付属の 4 mm 六角棒スパナで、シューを固定している六角穴付きボルトをゆるめます。シューを取りはずし、新しいシューを取付けます。

- 3** 交換が終わりましたら、P.15「研磨ベルトの交換」**3**～**5**の手順で、研磨ベルトを取付けます。



⚠注意

- 研磨ベルト取りはずし時に、ロックしたテンションバーを解除してから、交換作業をしてください。
- 研磨ベルトを装着せずに、プッシュボタンをむやみに押さないでください。
- 交換後、ベルトカバーをはずしたまま作動させないでください。

●アイドルプーリブラケットの交換

- 1** P.15「研磨ベルトの交換」**1**、**2**を参照し、研磨ベルトを取りはずします。

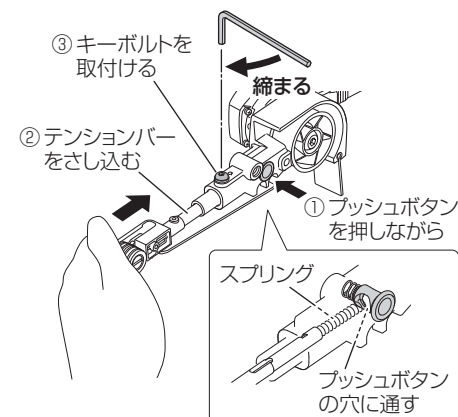
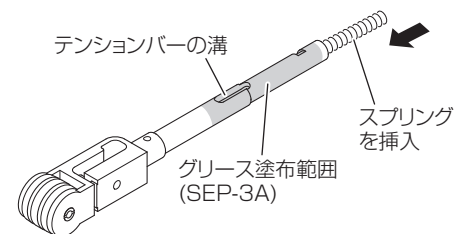
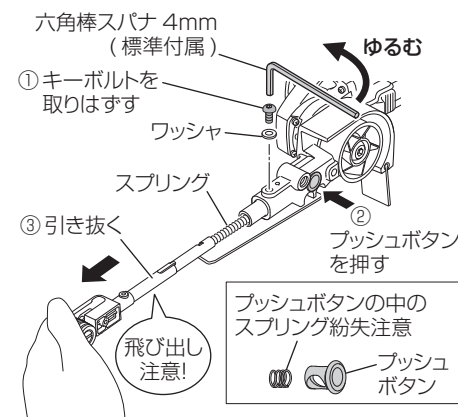
- 2** 付属の 4 mm 六角棒スパナでキーボルトを取りはずします。テンションバーが飛び出しますので、片手で押さえながら、プッシュボタンを押し、テンションバーを引き抜きます。

- 3** 新しいテンションバーにスプリングを挿入し、摺動部にグリースを塗布してください。

- 4** プッシュボタンの穴にスプリングが通るように、プッシュボタンを入れて軽く押さえながら、テンションバーをさし込みます。

- 5** テンションバーの溝にキーボルトの先端が入るように合わせながら、キーボルトを締めます。

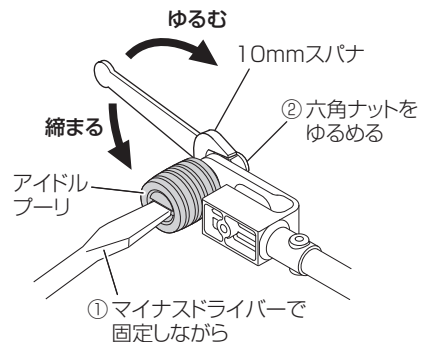
- 6** 交換が終わりましたら、P.15「研磨ベルトの交換」**3**～**5**の手順で、研磨ベルトを取付けます。



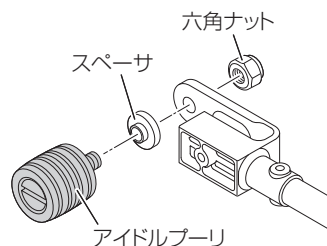
●アイドルプーリの交換

1 P.15「研磨ベルトの交換」**1**、**2**を参照し、研磨ベルトを取りはずします。

2 お手持ちの 10 mm スパナとマイナスドライバーで、アイドルプーリを固定している六角ナットをゆるめると、アイドルプーリがはずれます。



3 新しいアイドルプーリを取付け、六角ナットを締付けて固定します。その際、スペーサを入れ忘れないように注意してください。



4 交換が終わりましたら、P.15「研磨ベルトの交換」**3**～**5**の手順で、研磨ベルトを取付けます。

●オフセットブラケット 20 の取付け方

オフセットブラケットは、研磨ベルトの弾力を利用した曲面研削やバリ取りなどの軽研削作業に使用します。

1 P.15「研磨ベルトの交換」**1**、**2**を参照し、研磨ベルトを取りはずします。

2 付属の 4 mm 六角棒スパナで、シューを固定している六角穴付きボルトをはずし、シューを取りはずします。

注 取りはずしたシューとボルトは、なくさないように保管してください。

3 オフセットブラケットをセットし、付属の 4 mm 六角穴付きボルトで固定します。

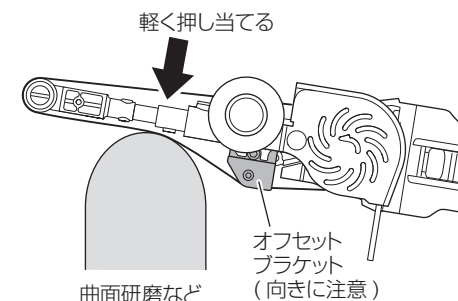
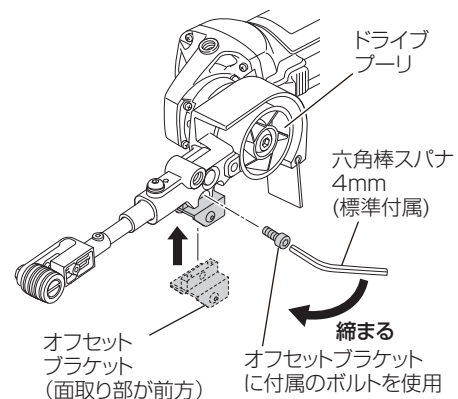
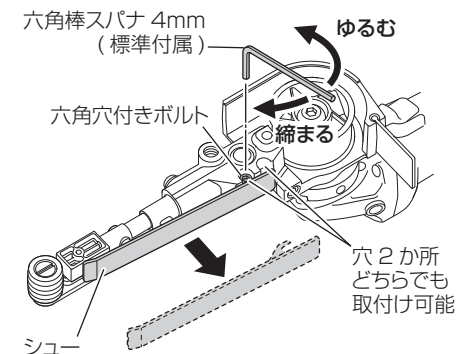
4 取付けが終わりましたら、P.15「研磨ベルトの交換」**3**～**5**の手順で、研磨ベルトを取付けます。

オフセットブラケットの使い方

アイドルプーリとオフセットブラケットの間で、研磨ベルトを加工物に軽く押し当て作業します。

⚠注意

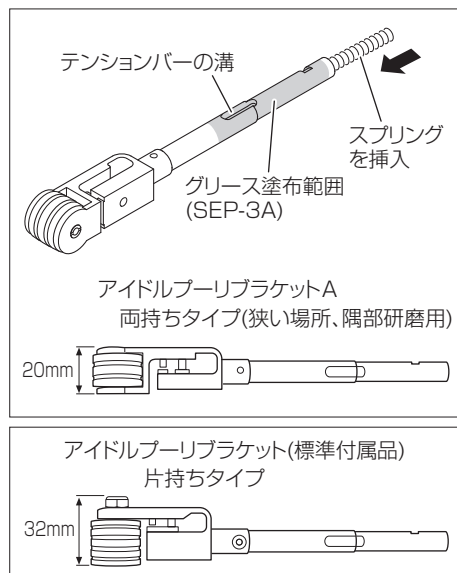
不織布ベルトを使用するときは、オフセットブラケットを使用しないでください。不織布ベルトがはずれ、けがの原因になります。



●アイドルプーリブラケットAの取付け方

アイドルプーリブラケットAは、狭い場所や隅部での使用に便利です。

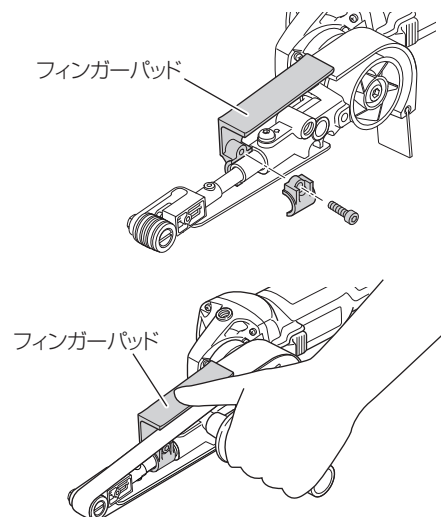
- 1 P.24「アイドルプーリブラケットの交換」**1**、**2**を参照し、テンションバーを取りはずします。
- 2 元のアイドルプーリブラケットに付いていたスプリングを、テンションバーに挿入します。
- 3 アイドルプーリブラケットAを取付けます。
P.24「アイドルプーリブラケットの交換」**3**～**5**の手順と同じです。
- 4 取付けが終わりましたら、P.15「研磨ベルトの交換」**3**～**5**の手順で、研磨ベルトを取付けます。



●フィンガーパッドの取付け方

研磨ベルトを被削材に押し付けて研削したいときに使用します。サイドハンドルだけで押し付けが足りないときにパッドに指を押し当てて使用します。

- 1 P.15「研磨ベルトの交換」**1**、**2**を参照し、研磨ベルトを取りはずします。
- 2 フィンガーパッドを図のように取付けます。
- 3 取付けが終わりましたら、P.15「研磨ベルトの交換」**3**～**5**の手順で、研磨ベルトを取付けます。



保守・点検

⚠警告

点検・お手入れの際は、スイッチを切り、蓄電池を工具本体から取りはずしてください。

●機体の点検

各部位の取付けに、ガタつきやゆるみがないか定期的に点検してください。ゆるんだまま使用すると、けがなど事故の原因になります。異常がある場合は、お買い求めの販売店に相談してください。

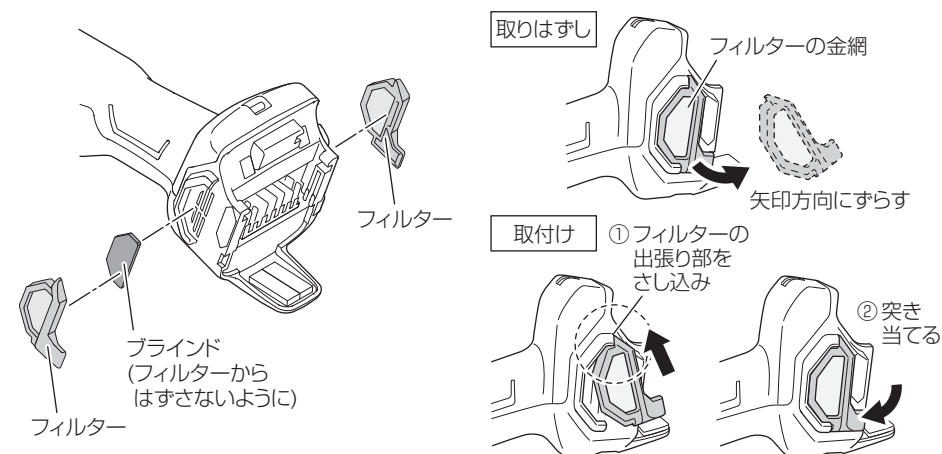
●清掃する

機体が汚れたときは、石けん水に浸した布をよく絞ってからふいてください。ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油類はプラスチックを溶かす作用があるので使用しないでください。

●フィルターの清掃

使用後はフィルターをはずし、金網に付着したごみやほこりを取り除いてください。

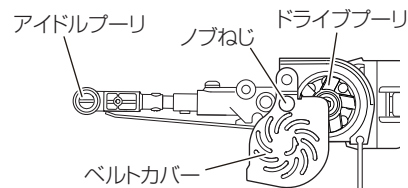
- 注** ●フィルターを取りはずして無負荷運転し、湿気のない空気を入れることで、内部のごみやほこりを排出してください。
モーター内部にごみやほこりがたまると、故障の原因になります。
- 清掃後、フィルターを確実に取付けてください。
 - 蓄電池側から見て左側フィルターのブラインドは、はずさないでください。



●アイドルプーリ・ドライブプーリの点検

切りくずやほこりがたまると、研磨ベルトの振動が大きくなります。また、研磨ベルトがスリップするときは、アイドルプーリやドライブプーリの摩耗が考えられます。

P.15「研磨ベルトの交換」の**1**、**2**を参照し、アイドルプーリとドライブプーリの掃除をしてください。



●端子部の点検

工具本体や蓄電池の端子部に切りくず、ほこりがたまっていないか点検してください。作業前、作業後のほかに作業中でも時々点検してください。

●モーターの取扱いについて

モーター（内蔵）(P.9「各部の名称」参照)に、油や水が浸入しないよう十分に注意してください。

注 ごみやほこりを排出するため、定期的に、モーターを無負荷運転させて、湿気のない空気をハウジング後方の風穴から吹き込んでください。
モーター内部にごみやほこりがたまると、故障の原因になります。

●機体や付属品の保管

下記のような場所は避け、温度が50℃未満で乾燥した安全な場所に保管してください。

- お子様の手が届く場所、持ち出せる場所
- 軒先など雨が降りかかる場所、湿気がある場所
- 温度が急変する場所、直射日光が当たる場所
- 引火や爆発の恐れがある揮発性物質が置いてある場所

●リチウムイオン電池の輸送について

リチウムイオン電池を輸送する場合、次の点に注意してください。

⚠警告

輸送会社にリチウムイオン電池を含む荷物であること、および電力量を伝えて、輸送会社の指示に基づいた手続きを行ってください。

- 電力量が100 Whを超えるリチウムイオン電池の場合は、輸送貨物の分類上、危険物扱いとなり、特別な申請等が必要になります。
- 海外へ輸送する場合、国際法令および輸送先国の規制に従う必要があります。

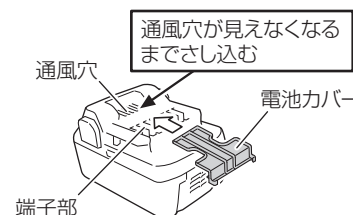


●リチウムイオン電池の保管について

⚠警告

リチウムイオン電池の端子部に導電性のある異物が入り込むと、短絡（ショート）して発熱・発煙・発火する恐れがありますので、保管するときは、以下の内容を守ってください。

- 収納ケースに導電性のある切りくずや釘、針金や銅線などの線材を入れないでください。
- 短絡（ショート）するのを防ぐため、蓄電池は工具本体にさし込むか、電池力バーを取付けて保管してください。



注 リチウムイオン電池を保管するときは、半分程度の容量で保管してください。

蓄電池の残量が少ない状態で長期間（3か月以上）保管すると蓄電池が劣化し、使用時間が著しく短くなる、または充電できなくなる恐れがあります。

充電と使用を繰り返しても使用時間が極端に短い場合は、蓄電池の寿命とご判断いただき、新しい蓄電池をお買い求めください。